

Press Release

本リリースに関する連絡先

広報担当 榊原優
03 6271 9408
yu.sakakibara@bakermckenzie.com

「サプライチェーンを再考する：アジア太平洋地域における回復(リカバリー)と再生(リニューアル)」報告書発行

【2020年8月25日 グローバル発】 ベーカーマッケンジーおよび Silk Road Associates の共同調査により、「サプライチェーンを再考する：アジア太平洋地域における回復と再生」と題した新たな**報告書**(全33ページ、英語)を発行いたしました。

COVID-19によるパンデミックを起因としたグローバルサプライチェーンの混乱は、世界経済を大幅に減速させています。この混乱は、アジア太平洋地域にサプライチェーンを置くグローバル企業にとって、既存のサプライチェーンのデジタル化や多様化という問題を増幅させました。さらに、貿易戦争やESGへの考慮など山積する課題が、サプライチェーンの構図自体を塗り替えています。

経済の再開や需要の増加が進むにつれ、グローバルサプライチェーンの回復が注目されています。企業がサプライチェーンをアジア太平洋地域へ置くか否かに関わらず、低コストのサプライヤーを確保し、移転・再編を視野に入れ、短・中期的に財務の健全性を維持することが急務となっています。

本報告書では、350の製品カテゴリーと150か国にわたる輸出市場シェアの調査に基づき、グローバルサプライチェーンの主要な課題、機会、製造ラインの移転、政府の介入スキームの影響など、産業別の固有な動きやビジネス戦略と、各業界リーダーから得た洞察を取り上げます。

グローバルサプライチェーンの5つの主要トレンド:

1. 米中貿易関係がサプライチェーンの変化の主要因となっていること
2. サプライチェーン多角化戦略が加速していること
3. 中国国内大規模市場と中国の新興国市場に対する強みが極めて重要となっていること
4. デジタル化とサステナビリティ(持続可能性)のサプライチェーンへの影響
5. 政府による経済支援策とその戦略的活用が各企業の将来へ影響を与えるであろうこと

- 以上 -

本件における問い合わせ先



板橋加奈

コーポレート M&A グループ所属、東京、パートナー

03 6271 9464

kana.itabashi@bakermckenzie.com

19年以上の実務経験を有し、東京事務所のパートナーとしてコーポレート M&A グループに所属。2007年より国内大手証券会社の自己投資部門に出向し、企業再生案件、プライベート・エクイティ投資案件、債権投資案件、排出権取引等各種投資案件に携る。

ベーカーマッケンジーについて

ベーカーマッケンジーは、世界を舞台とする厳しい競争に立ち向かうクライアント企業を支援します。私たちは、様々な国や幅広い業務分野に関わる複雑な法的課題を解決します。70年以上にわたり独自の文化を育んできた当事務所では、13,000人の所員が現地の市場を理解し、複数の国や地域に跨る案件を巧みに遂行することができます。信頼のおける同僚・友人のように、互いに協力して案件に臨むことで、クライアント企業と信頼を築きます。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

